

「神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ」を 横浜市のふるさと納税返礼品に採用しました

このたび、学校法人神奈川大学（理事長 兼子良夫）が製作・販売する「神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ」を、市のふるさと納税の返礼品に採用しました。この「横浜スカーフ」は、日本航空株式会社の客室乗務員が神奈川大学みなとみらいキャンパスに出向した“縁”から生まれました。（下記の経緯を参照）

横浜市では、地場産業である「横浜スカーフ」製品の普及・啓発を支援しています。今回の返礼品への採用と併せて、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」横浜市ページに、「横浜スカーフ特集」を掲載します。

■ 経緯

神奈川大学と日本航空は、連携して次世代人材の育成に取り組んでおり、コロナ禍のなかで同大学みなとみらいキャンパスに出向することとなった客室乗務員が、「横浜の地域振興のために何かできないか」と、大学職員と一緒に模索していたところ、目に留まったのが、日頃から客室乗務員が業務で着用する「スカーフ」でした。

客室乗務員が、横浜市の花「バラ」をモチーフにしたデザインを考案し、横浜の地場産業である絹産業の普及に取り組む横浜繊維振興会（会長 松村俊幸）の全面協力のもと、製作には横浜伝統工芸技術である「手捺染（てなっせん）」が採用され「神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ」が誕生しました。

このスカーフは、「ふるさと納税」の寄附のお礼の品として受け取ることができるほか、今後、神奈川大学オンラインショップ（KUパートナーズ オンラインショップ）で販売される予定（12月中旬頃）です。



横浜市の花である“バラ”をモチーフに、花びらの中に横浜の名所が描かれたオリジナルの高いポップなデザインに仕上がりました。

神奈川大学は今年4月に、大学発祥の地である桜木町に隣接するみなとみらい地区に、「みなとみらいキャンパス」を新設しました。今回はこのような“縁”もあり、横浜の地域振興に寄与する取組として、オリジナルデザインの横浜スカーフを製作しました。横浜開港の歴史を築いた先人たちの伝統を受け継ぎ、新たな横浜の魅力を生み出す取組に携われ、大変喜ばしく思います。

【神奈川大学 社会連携センター課長 小林 敏昭】

■「ふるさとチョイス」横浜市ページでの紹介

○「神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ」は、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」の横浜市ページに掲載しています。

URL： <https://www.furusato-tax.jp/product/detail/14100/5270346>

＜返礼品情報＞

サイズ：88×88cm

縫製・染色：千鳥巻き・手捺染

寄附金額：36,000円

※ご寄附を頂いた市外在住の個人の方がお申込みいただけます。

○同時に「ふるさとチョイス」内にて、「横浜スカーフ特集」を掲載中です。

「ふるさとチョイス 横浜市サイト」(外部サイト)

URL： <https://www.furusato-tax.jp/city/product/14100/>



■ 関連イベントで「スカーフ」をお披露目

11月14日(日)に横浜市役所アトリウムで開催するイベント内で、神奈川大学の学生がモデルとして登場し、「神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ」を初公開すると共に、スカーフを使ったアレンジメントを体験します。

◆第6回横浜絹フェスティバル ～オープニングイベント～

会場：横浜市役所 1階アトリウム

日時：令和3年11月14日(日) 14:00～17:00

※「神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ」のお披露目は、

14:45～14:50の「神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ PR コーナー」で行います。

(当日取材可能)

お問合せ先			
【取組全般について】	経済局商業振興課長	押見 保志	Tel 045-671-3488
【ふるさと納税返礼品の採用について】	財政局財源課長	足利 有喜	Tel 045-671-2185
【「神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ」について】	神奈川大学 社会連携センター課長	小林 敏昭	Tel 045-664-3710

※本件は横浜経済記者クラブへも同時発表しています。